

新たな複合災害リスクとレジリエンス 公共政策の視点から

清水 美香¹

¹ 京都大学防災研究所

E-mail: shimizu@imdr.dpri.kyoto-u.ac.jp

近年、自然災害リスクが益々複合化する傾向があることに加えて、都市化および気候温暖化が要因となって、リスク社会を取り巻く状況は史上例を見ない様相で大きく変化している。このようにダイナミックに変化するリスク社会の状況は、従来と同様の災害マネジメントの手法あるいはアプローチだけで乗り越えることができるのか、我々に大きな課題を呈している。本プレゼンテーションでは、新たな複合化リスクの特徴を踏まえた公共政策的課題について論点を提供する。特にレジリエンスと公共政策の観点から、今後どのようなアプローチが問われるのかについて、最近の Sandy に関わる NY の政策事例なども交えながら、これまでの研究を踏まえた視点を提示する。

キーワード：複合災害リスク，レジリエンス，公共政策，都市化，気候温暖化